**インターンシップの成果発表**

皆さん、こんにちは。湖州師範学院のインターン生史明航と申します。今日は私がこの五ヶ月間、JASTでの研修結果について発表させていただきます。

まず、今日の発表の流れを説明します。1.これまでの研修内容2.生活について 3.今後の目標。それでは、１から順番に説明いたします。

1. これまでの研修内容

インターンシップ期間中は色々なことを勉強しました。会社に来て最初に会社の朝会に参加させていただきました。初めて会社の朝会というものを体験できました。その時に、皆さんに自分紹介しました。そした、部長さんは私に会社案内して、挨拶しました。会社にインターンシップに来たという実感を感じました。インターンが本格的に始ました。

まず9月～10月までは人事研修ということで、社会人基礎および技術に関する研修に取り組みました。また、GAKUENの製品機能に関する基礎的知識を学びました。その次の10月から11月末までの事業部研修では、サンプルアプリ研修しました。GAKUEN解析・実装・テストを含みます。そして、12月から今までは佛教大学に見学して、障害対応研修しました。この5ヶ月間を通して、私の成長を大きく分けて言いますと、３つあります。

第一は日本語能力の向上です。最初は歓迎会で日本語が全然聞き取れないです。生活上日本人と簡単な日常会話もできないから、日常生活が難しいです。仕事は週間報告書と毎日の進捗報告で日本語の指摘がたくさんありました。業務の資料が全部日本語で、googleで翻訳するには時間がかかりました。仕事には影響が出して、効率低いです。だから、早く日本語をマスターしたいという気持ちがあって、それぞれの点で楽にさせていただきます。だから私は対策を立てました。日本語４級能力合格することを目指し、毎日単語を記録しました。一週間200個暗記して、目標しました。毎朝は聶さん準備の日本語小テストがテストしました。部長さんは私に日本語能力資料が買いました。とてもありがとございます。これと同時に、枚方市の日本語教室に参加しました。日本語の問題は先生に質問します。先生も辛抱して、学習環境がとても良いです。会社でいつも日本人を探して会話を練習しました。しかし日本語はまだ良くないので、これからたくさんのかたと日本語を喋りました。しばらくの間に、週間報告書の指摘が減少して、最初の月約16個から、10月で約13個、11月で約11個、12月で約6個、今まで約5個です。そして、報告書作成時間の減少しました。今はスーパーに買い物を買くして、交流いいです。日常生活について大きな問題はないです。

第二は次に実装知識の向上です。入社当初、Javaについては大学の授業で学んでいたものの、でも仕事で実際に運用されていないです。そして、GAKUEN機能の実装研修において、作成中たくさんエラーがあります、自信を無くしました。このとき、ロジック理解やコピーでないと実装できないといった実装スキルの低さを痛感しました。また、SEとしてふさわしくない行動をとっていました。ですので、実務後は、何度も先輩に質問をする中で教えていただいたデバック方法やログの確認方法を真似することを始めました。インターネットで資料をさがして、プログラムを繰り返す理解しました。そうすることにより、だんだんとエラーの自己解決が増えました。研修を通して、曖昧だった知識のピースがはまり、その結果、理解が深まった実感があったのでJavaに自信を持ちました。しかも、学んだ機能を卒業デザインに応用しました。

第三は社会人への意識の改善です。社会人と学生の違いは、仕事をした見返りにお給料をもらいます。そのため社員は会社に利益をもたらさねばならない。社会人は強い責任感が求められます。最初は学生の意識、責任感が弱い、あと遅れそうな時に報告がないです。そして、先輩に質問前、考えない、問題点整理ないです。特にその障害の改修に多大な時間を要し、予定工数の2倍となってしまいました。こうして、その自分仕事影響が出る、相手影響する、ユーザの予約時間が影響する、会社の利益が影響します。このままではだめだと思いました。報連相繰り返す学びして、始めました。仕事は報連相内容で練習しました。また、処理内容をまとめた上で行うことにより、検討不足による工数の超過を防ぎます。実務内にも時間をとり、ロジック理解を行う必要があります。最後に連絡の速さ・遅さが業務の効率や停滞を生むのを意識して、早く報告します。先輩が質問する前に問題点を整理し、現状を把握して伝えします。ただし、要点は簡潔です。責任感がだんだん強いです。

1. 生活について

私たちはインターンシップ中会社の寮で生活しました。はじめは少し慣れなくて、同い年の友達がないのが難点でしたが、だんだんこの生活も慣れてきました。朝出社して、会社で一日勉強して、夜は寮で晩ごはんを料理して帰りました。その後、ここに住んでいる他の中国人をじっくりと認識しました。彼らは生活の中で私に多くの援助をしてくれます。週末はいつも心斎橋行き、いろいろな商品が買いました。また、奈良公園に二つ行きました、鹿さんはとても可愛いです。通天閣に行きたこ焼き食べました。佛教大学見学時、金閣寺を遊覧します。伏見稻荷大社へ日本語教室の遠足に出かけしました。あっという間に五ヶ月が過ぎました。私は独立生活を学ぶ、日本の風土文化を分かりました。最初の月を覚えて、スーパーで電車の定期券がなくなってしました。私とても急いでいて、多くの店員が一緒に探してくれました、とうとう見つけました。日本人とても熱心で丁寧です。礼儀正しい環境でも、私はゆっくりと礼儀を身につけました。ごみを捨てず、ゴミの分类回収の概念も强化した。自分の素質も向上します。この五ヶ月間とてもいい思いてが作れました。

1. 今後の目標

卒業後、私はインターネットの会社に就職したいと思います。今回のインターンシップの経験を活かし今後も頑張って行きたいと思います。javaの開発に関する仕事に就きたいます。目标は良い制品を作ることです。

最後に、インターンシップ中会社の方々にご支援いただき、ありがとうございました。色々と迷惑をお掛けしたと思いますが最後まで私たちに付き合っていただきまして、誠にありがとうございます。

以上で私の発表を終わらせたく思います。